

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」・第16回実証試験の開催概要

- インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」は、地方自治体（施設管理者）が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する**実証試験**を実施しました。
- 第16回実証試験では、島根県から提供されたニーズ「トンネル点検への新技術の活用」に対して、民間企業（テクノハイウェイ(株)）が提供技術の説明を行った後に、現地において試験施工を行いました。
- 実証試験を受け、島根県からは、機能向上や課題解決等に関して意見交換していきたい、とのコメントを頂きました。

■日 時：令和6年9月19日（木）14:00～16:00 ■場 所：桃山トンネル（島根県出雲市大社町荒木地内）

■参加者：25名【施設管理者 島根県：7名 / 民間企業（テクノハイウェイ(株)）：2名 / インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員：11名 / 中国地方整備局：1名/ インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」行政会員：1名/ 点検受注企業：3名】

○開会挨拶



インフラメンテナンス国民会議
フォーラムリーダー 藤井 堅
(広島大学名誉教授)

○講評



インフラメンテナンス国民会議
メンター 宮本 文穂
(山口大学名誉教授)

○ニーズ提供者感想



島根県土木部 道路維持課
主任 松浦 雅大

■技術名「ひびわれ自動検出技術C2finder：テクノハイウェイ(株)」

○技術の説明、現地での試験

＜技術の説明＞



テクノハイウェイ(株)より

＜現地での試験＞



簡易なデジタルカメラでの写真撮影



撮影したひび割れ



望遠レンズ付きデジタルカメラによる写真撮影



ひび割れ自動抽出

